

井芹 政重 議員



## 南阿蘇村全区域の防災マップ再認識及び総合防災訓練について

**Q** 村では、まだ一度も防災訓練が実施されていない。今後はあらゆる災害に対応できる村民総参加の防災訓練が必要と思われるのでは非、計画実施してほしいと考えるがどうか。

**A** **村長** 一番大事なことでありと受け止めている。

また、長陽地区の泥火山についても、その危険性を認知し、それらの対策も早急に考えていかなければならない。

村内には色んな危険箇所がある。全部がすぐできるものではないが、

防災訓練などそういうところからできるだけ早期に、そして速やかに進めていきたい。



吉岡地区…泥火山のようす

## 農商工業の今後の展望について

**Q** 色んな方面で、村づくりが構築されつつあるが、新規就農者や新規店舗を考えている人たちの就農学級の開設、独自のブランドづくりを考えた

らと思うが村執行部としてどのように今後を考えているのか。

**A** **村長** 村の将来的なビジョンとしては、村内の各産業が連携して経済の活性化を図ることが均衡ある発展に向けて不可欠な要素であると考えている。

特に、農林業に関しては今生産されている農産物のブランド化による販売の強化を先ず行っていくたい。

## 県道熊本高森線の進捗状況について

**Q** 熊本高森線（県道28号）は、昨年、一昨年在り3000万円しか予算がなく余り工事が進んでいない。久石地区から高森町への早期全線開通はいつになるのか。又、21年度の予算配分、全線開通した後の矢部阿蘇公園線の見通しと今後の展開はあるのか。

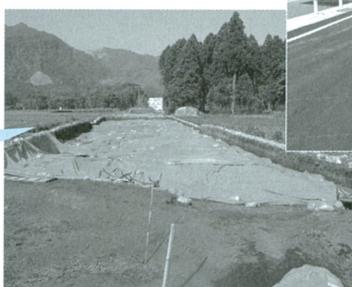
**A** **建設課長** 県道熊本高森線の単

併竹崎地区については継続して用地交渉を行っている。

結果、21年度から用地取得に入り、22年度に用地取得完了後橋梁新設等を予定している。また、国庫補助区間、両併地区においては文化財調査が終わり次第着工の運びとなっている。

なお、久木野地区の未着工約3キロ区間は両併地区の国庫補助区間、緊急地方道整備事業で行うが、両併地区の工事が終了次第着工予定となっている。事業主体は熊本県で、予算も大変厳しい状況であるが、今後も強く要望していきたいと思っている。

完成した熊本高森線のような（旧久木野村・上二小石地区）両併地区へと繋がる



両併地区・文化財発掘調査のようす